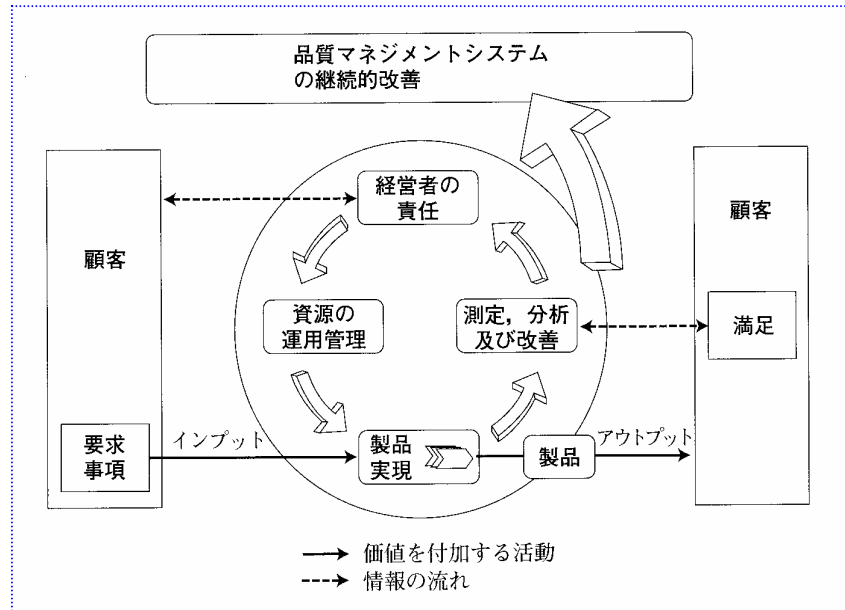


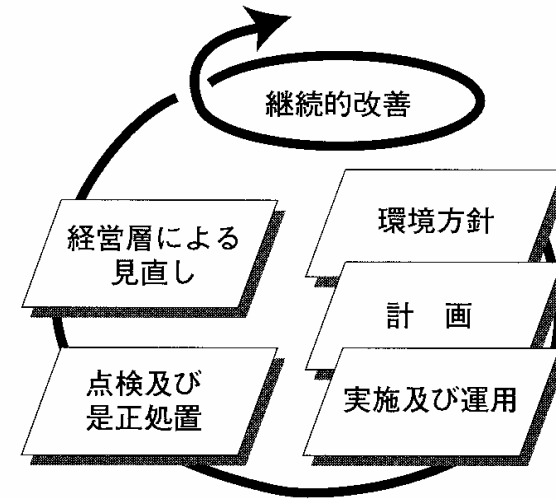
品質と環境 / 統合マネジメントシステム

- 1 . 規格の両立性 / 統合の容易性
- 2 . 統合マネジメントシステムのメリット・デメリット
- 3 . I S Oマネジメントシステムの統合化の考え方
- 4 . I S O 9 0 0 1 / 1 4 0 0 1 規格の要求事項の相互関係図
- 5 . 統合マネジメントシステム / 作業項目及び所要工数
- 6 . 統合マネジメントシステム認証取得タイムスケジュール
- 7 . 統合マネジメントシステム体系図：事例
- 8 . I S O 9 0 0 1 / 1 4 0 0 1 認証取得件数推移

規格の両立性 / 統合の容易性



ISO9001:2000品質マネジメントシステム



(出典) JIS Q 14001「環境マネジメントシステム—仕様及び利用の手引」, 日本規格協会, 1996年.

ISO14001:1996環境マネジメントシステム

1. どちらの規格も、P(計画)D(実行)C(チェック)A(アクト)のマネジメントサイクルで構成されている。
2. PDCAをスパイラルアップすることにより、継続的改善を図ることが共通の目的である。
3. 即ち、マネジメントモデルとしての共通性があり、融合が容易である。

統合マネジメントシステムのメリット・デメリット

メリット

マネジメントシステムの簡素化ができる
審査工数が減り、費用が安くなる。(20%程度)
リスクを効率的に低減できる。
組織としての一体感が得られる。
結果として、いろいろのマネジメントシステムを理解・経験することになり、経営を理解する幹部・社員の育成が図れる。
品質とか環境の狭い範囲の管理システムから、経営管理システムとして確立することにより、全般的な経営改善が促進される。

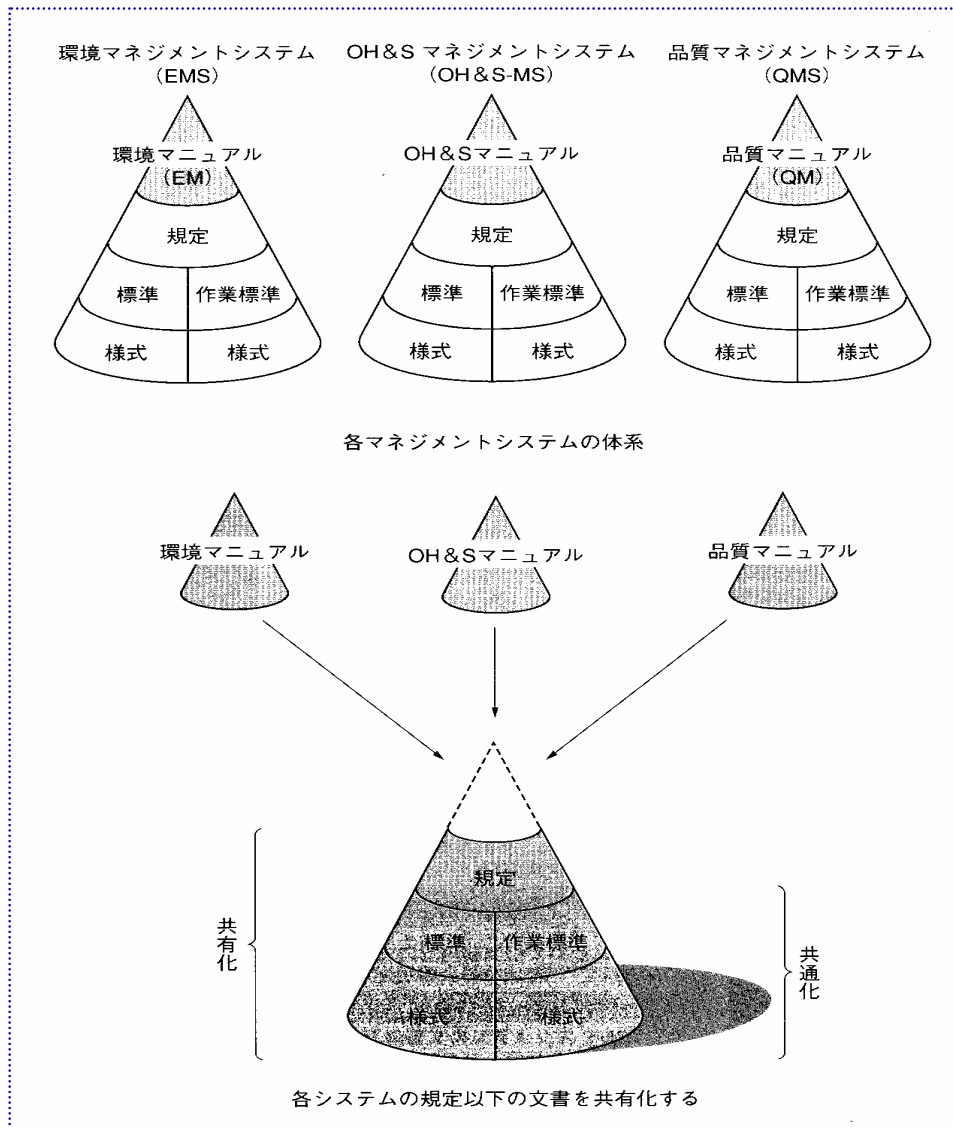
デメリット

マネジメントシステム構築に時間がかかる。
経営者がその主旨を理解して旗振りをしないと、形骸化しやすい。単なる審査費用削減に終わってしまう。

以下の工夫によりデメリットを解消します

文書の共通化・共有化
システム構築・運用目的の明確化
効率的なコンサルティング

ISOマネジメントシステムの統合化の考え方



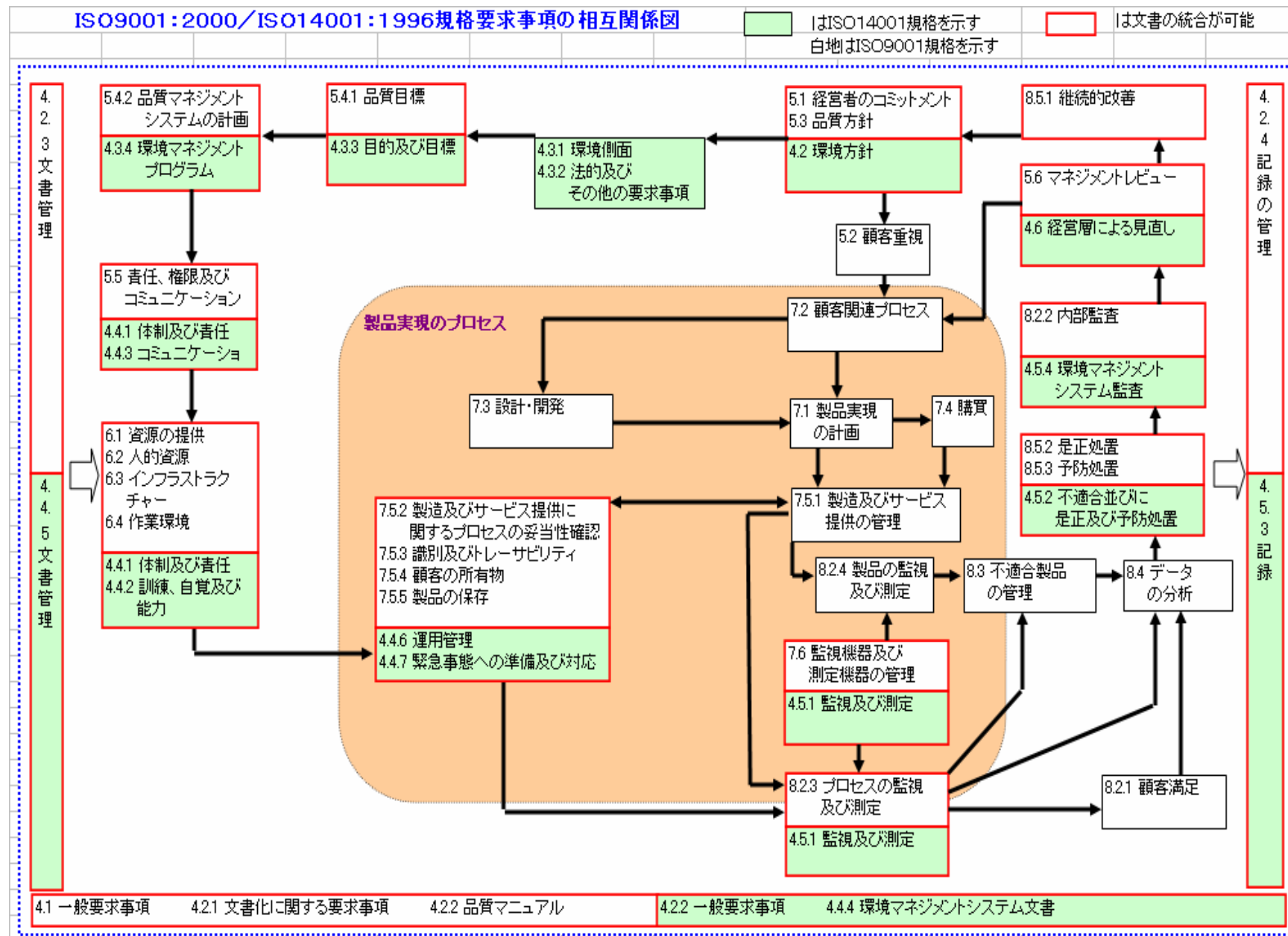
QMS、EMSについて、それぞれの規格の要求事項の並びをふまえたマニュアルを、ガイドラインとして作成し、システムを動かす為の第2階層の規定類を共有化し、各々の現場で作業を行うための標準類を共通化する。

共有化とは・・・

文書管理、是正処置などの仕組みを動かす考え方を統一し、品質、環境で管理の対象を変え、2つのシステムを運用するという概念である。

共通化とは・・・

現場が作業をするとき、品質、環境の2つのシステムの要求事項を満足する手順書にすることである。

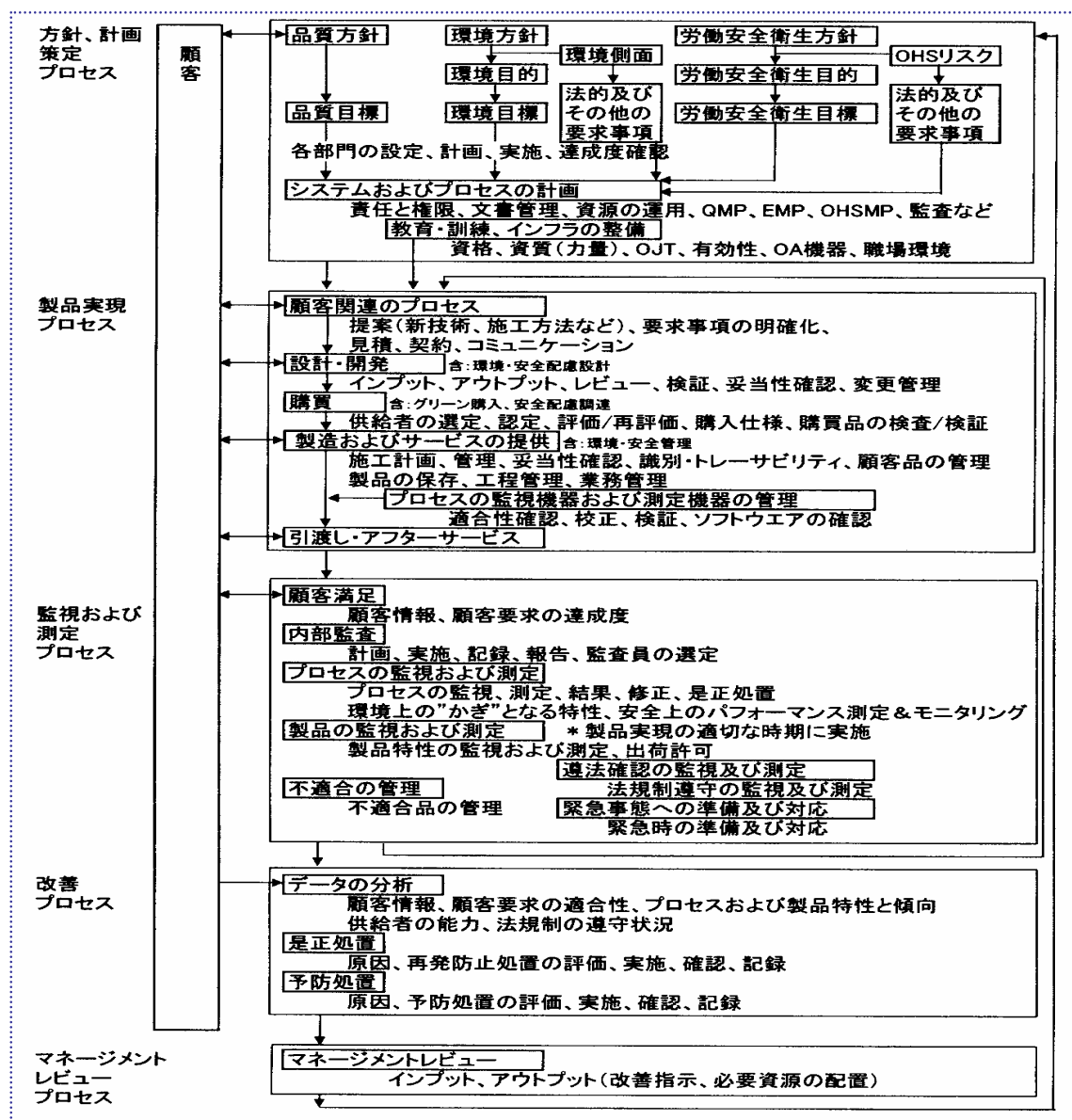


統合マネジメントシステム／構築・運用・認証取得コンサルティング／作業項目及び所要工数												
分類	単独システム						9001／14001統合システム					
	ISO9001			ISO14001			ケースA ゼロスタート→同時認証		ケースB 9001→ +14001	ケースC 14001→ +9001		
	コンサルティング項目		工数	コンサルティング項目		工数	コンサルティング項目	工数	増加工数	増加工数		
システム 構築	品質マニュアル		8	環境マニュアル		8	統合マネジメントマニュアル	12	7	7		
	文書管理規定	4.2.2	3	文書管理規定	4.4.5	3	文書管理規定	3	1	1		
	品質記録管理規定	4.2.4	2	環境記録管理規定	4.5.2	2	記録管理規定	2	1	1		
	品質方針管理規定	5.2／5.4	2	〈環境方針管理規定〉 EMSプログラム管理規定	4.2 4.3	2 2	計画管理規定	2	1	1		
	組織規定	5.5	3	組織規定	4.4.1	3	組織規定	3	1	1		
	マネジメントレビュー規定	5.6	1	経営層による見直し規定	4.6	1	マネジメントレビュー規定	1	0.5	0.5		
	資源運用規定	6	3	教育訓練規定	4.4.2	3	資源運用規定	3	1	1		
				コミュニケーション管理規定	4.4.2	1	コミュニケーション管理規定	1	1	0		
	顧客関連プロセス管理規定	7.2	2				顧客関連プロセス管理規定	2	0	2		
	設計・開発規定	7.3	3				設計・開発規定	3	0	3		
	購買管理規定	7.4	2				購買管理規定	2	0	2		
	製造・サービス管理規定	7.5	3	運用管理規定	4.4.5／4.4.7	3	運用管理規定	3	3	3		
	監視機器・測定機器管理規定	7.6	2	監視・測定管理規定	4.5.1	2	監視機器・測定機器管理規定	2	0	0		
	顧客満足規定	8.2.1	2				顧客満足規定	2	0	2		
	内部品質監査規定	8.2.2	2	内部環境監査規定	4.5.4	2	内部監査規定	2	0	0		
	プロセス監視・測定規定	8.2.3	2				プロセス監視・測定規定	2	0	2		
	検査規定	8.2.4	3				検査規定	3	0	3		
	不適合品管理規定	8.3	2	不適合管理規定	4.5.2	2	不適合管理規定	2	0.5	0.5		
	データ分析規定	8.4	1				データ分析規定	1	0	1		
	是正・予防処置管理規定	8.5.2／8.5.3	2	是正・予防処置管理規定	4.5.2	2	是正・予防処置管理規定	2	0	0		
	小計			48	小計			36	53	17	31	
システム 運用	文書配布～保管		1	文書配布～保管		1	文書配布～保管	1	0	0		
	品質記録収集～保管		2	環境記録収集～保管		2	記録収集～保管	3	2	1		
				法規制調査～対策		3	法規制調査～対策	3	3	0		
	方針設定～部門展開～レビュー		3	方針設定～部門展開～レビュー		3	方針設定～部門展開～レビュー	6	2	2		
				環境側面調査～リスク評価		6	環境側面調査～リスク評価	6	6	0		
				EMSプログラム作成～レビュー		4	計画作成～レビュー	4	4	0		
	マネジメントレビュー実践		1	マネジメントレビュー実践		1	マネジメントレビュー実践	2	0	0		
	教育訓練～資格認定		2	教育訓練～資格認定		2	教育訓練～資格認定	4	1	1		
	力量評価		2				力量評価	2	0	2		
	資源運用管理		1				資源運用管理	1	0	1		
	作業環境管理		0.5				作業環境管理	0.5	0	0.5		
				内外コミュニケーションの実践		1	内外コミュニケーションの実践	1	1	0		
	受注業務		1				受注業務	1	0	1		
	設計・開発		3				設計・開発	3	0	3		
	購買先評価～選定		2				購買先評価～選定	2	0	2		
	購買発注～受入検査		2				購買発注～受入検査	2	0	2		
	製造・サービスの実施		2	EMSプログラム運用		4	品質・環境の運用	6	4	2		
	監視機器・測定機器の管理		2	監視機器・測定機器の管理		2	監視機器・測定機器の管理	3	0	0		
	顧客満足評価		2				顧客満足評価	2	0	2		
	内部監査の実施		2	内部監査の実施		2	内部監査の実施	3	0	0		
	プロセス・監視測定～チェック		2	EMS監視・測定～チェック		3	プロセス・監視測定～チェック	4	2	2		
	製品検査		2				製品検査	2	0	2		
	不適合～是正・予防処置		2	不適合～是正・予防処置		2	不適合～是正・予防処置	4	0	0		
	データ分析		1.5				データ分析	1.5	0	1.5		
	模擬審査		6	模擬審査		6	模擬審査	12	6	6		
小計			42	小計			42	79	31	31		
合計		時間 日数	90 15	合計		時間 日数	78 13	合計		132 22	48 8	62 10

[illegible]

あどばる経営研究所
A.V.MANAGEMENT

統合マネジメントシステム体系図:事例



ISO9001 / 14001 認証取得件数推移

